朝鮮日報

紀元二千五百六十五年 明治三十八年三月十七日 光武九年 韓曆二月十二日

發行所 朝鮮日報社

各地通信

●南司特報（十五日）

鴨綠水隊の苦戰

……錦江……九州男兒の忍びざる處……

錦江の航運（四）

……の月と稱し此日は附近四方の農民……の群集數四千を超へ毎市の取引高少なきも……幾十圓多きは幾萬圓に達し他に比類を見ざる所其光景盛なる期節は雲集人數上の人出を見るあるも整らしからずと云ふ

米は此地方物產の重要なるものにして其出穀期に際すれば毎市四五百石の取引ありて輸入品中鹽魚類は毎市の小賣にても壹日數千錢（我七斗入）の取引を見るあり少からず而して春夏秋三季の間鹽の販賣高は十二万錢にも達すべく商は一ヶ年間錦江流域各部に吸收する鹽の總數高は右の三倍に達するならん蓋し地方民度豐富にして進步を呈する証據にして江景地方商業の盛なる所以なりされば外國人にして邦人及支那人の內地貿易を營むものは皆此地を以て根據地となせり故

……備考斗落は我三畝二步に當る

……依此之れを見れば農商並び旺盛にして既に開市場を願出せりと云ふも敢て不可なきなり其所要に對する計畫なかるべからざるなり

江景出入の船舶

錦江を出入する船舶の艘數は之れを詳かにするを得ざるも其中心たる江景に出入するもの數は一ヶ年壹し八千艘以上に達せんと云ふ而して其船舶帆船汽船等大小の各種ありて今水運の狀況を知るに資する爲め江景に發着するものに就て其種類及び艘數を記せん

雜報

●居留民團法發布

曩きに我帝國議會を通過したる居留民團法は各居留地の財政年度の編制等あるを以て之が發布を取急ぎ去七日を以て裁可を經公布せらる

朕帝國議會の協贊を經たる居留民團法を裁可し玆に之を公布せしむ

御名 御璽

明治三十八年三月七日

內閣總理大臣 伯爵 桂 太郎

外務大臣 男爵 小村壽太郎

法律第四十一號

居留民團法

第一條 專管居留地、各國居留地、雜居地其の他外國に於ける帝國臣民の狀態に依り外務大臣に於て必要と認むるときは其の地區內に住居する帝國臣民を以て組織する居留民團を設立することを得居留民團の地區、議體分合又は其の地區の變更に關する事項は命令を以て之を定む

第二條 居留民團は法人とし官の監督を受け法令又は條約の範圍內に於て其の公共事務及法令條約又は慣例に依り之に屬する事務を處理す

第三條 居留民團に吏員及居留民會を置く

第四條 居留民會の組織居留民團吏員又は居留民會議員の任免、選擧、任期、給與及職務權限等に關する事項並居留民團の財產負債、營造物、經費の賦課徵收及會計に關する事項は命令を以て之を定む

第五條 居留民團は領事、公使及外務大臣順次に之を監督す但し土地の情況に依り第二次の監督を省略することを得前項監督に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

第六條 居留民團設立の際其の地區內に住居する帝國臣民の共同財產及負債の處分其の他本法施行に關し必要なる事項は命令を以て之を定む

征行日記

誠 齋

三月十六日

午前六時將に行李を整頓する音に夢を破らる本隊は此の地に十分整頓の爲め自分は主計兵糧給養係等と共に喇叭手を隨へ中和に向ふ黃橋里に賣食所を（相駐士人に命じ）設定し給與の……の用に供せしむ進むこと……里……路傍は……負ひて下に一基の木標を見れば小丘松林を……

行程自黃州至中和五里半

二月十七日 晴 暖

午前六時起床全七時半縱列に先つこと一時間船橋里に向ひ先行す……日光の……

……縱列は本日第五梯團の解剖と共に縱隊に直隷せり敵の騎兵約壹千五百名は平壤前方約八里の處にありとの噂さ頻り折歷として壯心動く

行程自中和至船橋里四里半強

新体詩

夢の蝶

天 奴

夜半の嵐を知らぬ身も
果敢なき昔しのびては
夢より醒めて夢に入る
此世は夢よ、幻よ
萩の下葉に露の宿
仮寢に結ぶ仇まくら
結び象なたる春の園
牛曳いて行く小童の
長閑けき唄に醒されて
浮び出たる蝶二つ
舞ふや小袖、振小袖
もつれつ解けつ花蔭に
語るは夢の物語り
囁き語く、永久に
移ろひ香らぬ黃模樣
標や何處迎るらむ
……夢のて……
夢より醒めて夢に入る

俳 句

……

講談

武勇の譽（十四回）

本社 竹井 林操 講演 速記

朝鮮日報

電報

●鐵嶺を占領す（午前五時東京發）

我追擊兵は長駈して敗敵を擊退しつゝ、本日午前○時つひに鐵嶺を占領したり

●敗兵の行衛（本日午前○時東京發）

我軍の追擊猛烈を極め敗殘兵の大半は首尾斷絕其一部はつひに脫するを得ざるべき形勢なり

各地通信

●門司特報（三月十五日 特派員發）

●大小孤家子占領戰報 續き

滿洲地方の降雪は萬字巴どもり切るものにはあらで宛然小礫を掴み撒き散らすものの如く微細にして雪片は颶風にあほられて霏々縱橫に飛び交ふが故に甚だしき時は白漲となりて寸前をも辨せざるが如き事往々あり、現に我吉弘支隊が二日早朝より第二線の土嚢工事に據りて前面大小孤家子を瞰しつゝ接近し敵と其間僅に二百米突を隔てゝ接近し敵は形勝の地に堡壘を築き塹壕に據りて盛んに銃火を浴びせ之に反し我軍は急造の不完全なる土嚢のみ何等地物の利用するもの無く只だ開濶地に露出して猛進肉迫する事とて將卒の死傷するもの頗る多く相繼ぐ午前九時の頃には益々苦戰に陷り今や吉弘全隊殲滅の不幸を見るに至るべきかと憂へられたるの時天佑か、午前十時過ぎより降雪となり全く視界を遮られて白晝猶ほ薄暮の如く我は彼に彼は我に射撃の上に非常の妨碍を被り一時は苦戰の如き心細く感じたりき斯の如き大雪を利用して我吉弘隊の勇卒は雪を冒して敵を驅逐し其陣地を奪取せんと企て一擧して敵を驅逐し其陣地を奪取せんと企て下雪ばかりに利ならず…兩軍暫時にして下雪は又もや小止み…退かずして…敵の…中の…戰友等が忠義の熱血を以て紅に染め出され駐屯地の…

斯の如く我は何等地物の利用すべきものなく開濶地に敵前二百米突に接近して敵を攻擊し○○あるに敵は大波狀の高部に位置する事とて我を瞰射するが故に散兵線の苦戰は云ふ迄もなく北後方に縱列まで彈藥の供給を爲す縱列の苦心は實に名狀すべからず、仲々銃を取りて敵と戰ふ時は感情に制せられて熱狂的となるものなるも非戰鬪員にして戰線に立ち冷靜にして何等かの任務に服する事は實に至難の業にして後方より前線に彈藥を供給すると任務の如きは最も異常の元氣を要するものなり

而して當日吉弘隊の散兵線に送彈藥の供給運搬を爲す事は東肥老將隊壹部の任務なりしが彼等は概して郷里々は内顧の關係ある者のみなるに勿論邦君の爲めには壹身の安危如何を省みざるは五千萬同胞の常とは云へ其當日の激戰中雨霰と飛び來たる中に從容迫まらず過ぐる日清の役に鍜錬し上げたる膽は鐵の如く平氣平左に任務の遂行を爲したるは段つて壯者も後へに瞠若たらしむる者あり

而して此中壹人の勇士あり其名は笠能作と呼び熊本縣出身にして豫備步兵壹等卒、出征以來大小の戰鬪毎に其動作は頗る沈着にして隊中の模範と稱せられ各隊長も亦氏の勇敢なる事は充分に認識し居たる次第なりしが這回大小孤家子攻擊の激戰に於て同氏は獲しく勇敢なる事を證據立てたり、時は二日の午後二時となりて前面敵步兵の小銃火及び、先途と乘出す後方よりの重輕砲彈は實に異常のものにて散兵線にある兵卒は土嚢に據りて應射するの外背切運退する彈藥の運搬には勿論最も艱難の情勢を○司令部に報告し亦た他に命令を仰ぐの緊要事あるも壹切連絡を執る事能はず面も傳令は誰やら必要にてありたるより大隊長は特に壹等卒に指名して此重大任務を遂行せしむる事となれり

此行九死壹生なしとされど笠壹等卒は此難命を奉し欣然快諾直ちに輕裝して土嚢の線を離れ疾風の如く驅け始めぬ總ての戰友は走せ行く彼の後姿を目送し壹向に無事なれかしと祈りたるも悃ひべし彼は僅に四十米突餘を走りたるの際銃彈の命中したるもの、如く突然前方に斃れたるが前線の戰友等は一向に生死の如何を氣遣ひ其消息を知らんとすれど更に人を派せんとするも飛丸以て雨霰の如くなれば亦た如何ともする事能はず、殊に獲然として疾驅し始めし時笠一等卒は奮然佇立ちて…始めて彼の爲めに歡呼萬歲を叫び、斯くて一時間餘も後ち銃丸雨霰の如き開濶地を這ひ後方の鶴嘴に向つて積雪を蹴つて飛びす

殘走し來るものあり、近くに從つて熱戰すれば彼は即ち笠一等卒なる事判明したるが彼は天佑に依りて退れ弾丸の下をかいくぐりて漸く再び散兵線に戻りつゝ○○○於て右大眼部に負傷し銃創を被りて鮮血淋漓苦痛甚しきを忍び兵隊を見せつけたる後方に位置する○○司令部に辿りつゝ其使命を果し此時司令部附將校等は彼が負傷を冒して遂に止むるを肯かず戰鬪中のまゝ復命を了りしに其努力と勇氣には何れも感服せざるものなかりき

雪は時に激しく時に息みて午前四時頃に戰爭は早や五尺餘もふり積りたるが斯と雪中の戰は一種の美觀ありて參加者の終生忘るゝ能はざる處なるべきか、余は不幸午前五時前後に於て彈丸の爲めに負傷したれば其後の戰況を語る能はず、吉弘隊長も午後負傷して止むを得ず後方に退かされたるが其後吉弘隊は依然惡戰を繼續して翌々四日遂に其の目的を達し敵に多大の損害を與へて大小孤家子の占領を確實にしたり云々（完）

京城通信（三月十三日 午後三時着）

▲好鎭定 先日來紛擾を極め居りし排日運動も結局我憲兵隊の健捕となり殘類は假に恐怖して地方に去り又當地にあるものも其妻を隱し昨日に至り全く靜平に復したり

▲趙秉式罷免 靜平に復したる結果昨夜趙秉式參政任命前内部大臣趙秉式議政府參政に任ぜらる

▲崔益鉉抱川退去 治安妨害の廉にて逮捕せられたる崔益鉉は其情狀分駒量すべきものあり其郷里なる抱川に退去を命ぜられ已に今朝出發したり

▲皇太子誕辰 本日誕辰に相當するに付き各公使以下高等官は午前十時より參內賀意を表したり

▲公州暴行事件 公州に於ける宣教師の暴行に關したる事件は解決し懲罰金を出すあとゝなれり

▲收六郎遺族扶助金 轟轢に遭て負傷を受け之が原因となりて遂に間もなく死したる收六郎の遺族に對し今回韓廷より貳千圜の扶助金を交付したり

▲放免と護送 司令部に囚捕しありたる金鶴鎭は昨日放免され今日午前十時頃日本憲兵五名七官一名にて崔益鉉を東少門より抱川の自宅に護送せり

▲火賊暴る 二月三日夜賊黨百餘名は各自銃器を携へて新溪軍衙の本部守金斗鉉數を殺し税金二萬六千八百八十四兩を奪取したるつ工事部に… 兵を送りて捜したる…内部に電報を請ふ

馬山通信（三月十四日）

▲金鎭宗逃亡す 日本憲兵隊同居住の内侍金鎭宗の宅に至り同人を捕縛せんとしたるに逃亡して行衛不明也其の張溜書類を取調べたる上出行たりと云ふ

▲建築列車の始運轉 去る十二日午後一時半より昌原建築列車の試運轉を爲すに付き鐵道監督部班長時尾大佐は全港民に向て便乘許可ありたれば當日の日曜を幸ひと約二百名の便乘者ありたり途中異狀なく昌原坂1着するや一同下車時尾大佐の案内石塚技手の説明に依り坂上の難工なりし事を知り亦高さ六十六尺の石垣を案内せられぬ各休息の上歸途昌原市街を巡視し昌原停車場より歸りたる時に時尾大佐は途中異狀なきを祝する爲め一杯を傾けられよとの挨拶ありて各祝杯を擧げ亦民長宮原氏の發聲にて天皇陛下の万歲と陸軍の萬歲を三唱して無事に歸馬せしは薄暮頃にてありし

▲提燈行列 奉天陷落を祝する爲め昨夜居留地に於て全港民の提燈行列を爲し且つ鐵道監部領事館憲兵隊分駐所に至て萬歲を唱ね且つ祝杯を擧げたりしが今伦務馬山浦に於て同樣の催しあるべし

ると調査の結果鎭海郡長防里村及大面里村に於て百余町歩山部モリコソ村に二百町余の田地を買收し昨年五月頃事業に着手せんとするも朝鮮歷七十石余を押子として購入せしも戰爭當時の事とて思ふ如く万事運はず水道工事二のみ着手して拾二月四日登外歸国したるが同地は洛東江の沿岸にて土地豐饒將來有望の地なるも韓人に其の耕作をなさしめつゝありしを以て事業進捗せず爲めに本年よりは本邦人のみにて耕作に着手せんとて前記の如く代理者馬場氏は三拾余名の移住者と農具壹切を携へて來着されたるが同地には已に壹万八千七百坪の水溜池等も設けある由にて四月上旬迄には尚百五拾余名の移住者を引卒し來る筈なりしと

●軍用罐詰 東京水産局にては其の筋より軍用品として罐詰の用途を申來りたるを以て其の製造方を當港水產組合本部に依托せんとて打電ありたるを以て當組合よりは壹昨日嘉納柏原釜山罐詰製造所三ヶ所よりの見本送付したりと

●石輪製造着手期 豫て記載するが如く南濱町貿易業者渡邊文治氏の經營するべき石鹼製造は愈々來月上旬より着手するに至るべしといふ

●婦人會養蠶教室落成期 起築受負業者古川氏の盡力にて建築中の同教室も一部の上棟式を執行したるも未だ落成には至らず猶は一ヶ月を要すべしといふ

●京釜鐵道社宅上棟式 京釜鐵道草梁社宅は未だ不定の點あるにより過般中より一部の建築中なりしが一昨日を以て右の上棟式を執行したりといふ

●鐵道線路取締 京釜鐵道沿線には未だ火賊の出沒ありて線路に危害を加ふる等の恐なきにあらず且つ交通の便を妨害するより之が取締に付き沿線…

…に經營すべしとの説昨今同業者間に唱へられつゝあり…

●賣藥株式會社 京城に於ける賣藥業者連合薬種株式會社を當港或は適當の地南濱における五十万圓資本の賣藥會社が支社を設置するもならんといふ

●賣藥調査會結了 當居留地役所本年度豫算會は已報の如くなりしが昨日を以て結了したるを以て不日常置委員會を開くべし

●貸屋の不足 昨今本邦内地より續々渡韓者あり爲めに當港の如き如何なる隅にも借屋を見る能はざる光景を呈し四町の旅舍下宿屋は勿論藥入屋にても間毎く人を以て埋められ居るが如き狀態なり

●大城綿花製造所 當港南濱町大城商店にては今日迄二臺の器械にて綿花製造を試みし居りしが需要も豫想外多く且つ前途多望の事業なれば更に一臺を增加して製造業を繼續すべしといふ

●金物界の好況 昨年春期以來韓人間に於ても日本式の農具を使用する様になりしかば日露戰爭の結果元料高騰したるにも係らず當港金物店壹般豫想外の收入ありて而して過般の如き全羅道の韓人丹船にて當港に入り鍬鎌取百餘人分注文したるが如き前途多望の好景を呈し居れりといふ

●賣藥商協議會 今春壹月當港賣藥商等の協議會を開き同業上に關し種々協議する所ありしが近々中又々全會を開くべしとの事なり

●韓人とキナエン 韓人壹般賣藥に即座に多少の功能あるを欲し假令其の効能の薄なる劑座に何等かの刺撃無きもの付壹向日にせざるがキナエネの如きは即座に多少の効能或は刺撃あるを以て非常に歡迎されつゝありと賣藥商の談

●昨日の來韓者數 昨日入港の各船にて上陸せし數はバイキング號上等一下等八十六若津丸上等四中等十九下等百九万才丸上等四中等二壹一下等百九十名なりと

●白田氏の歸釜 玉川鑛諸沈税交涉の爲めに上京されたる白田氏は昨日歸釜されしが交涉問題は全氏等の請願通り其筋に於て容れたりといふ

●中島氏の歸釜 當水產組合副組長中島行一氏は豫て上京中の處昨日入港の神代丸にて歸釜せられたり

雜報 韓廷の閑息

●崔益鉉、許蔿、金鶴鎭等排日運動を取りたる雜輩が我憲兵の手に捕へられたる以來崔、許等と氣脈を通じ居りたる雜輩は俄かに恐怖の念を起したるも見え此程まで崔等と排日運動を取りつゝありたる李容泰、李址鎔等は何れにか透遁して行衛不明となりしと同時に參政趙秉式も罷められ趙秉式出で、終教ともなりたれば許界の紛擾も一先づ治まり宮中は漸く靜諡に歸したりといふ

●排日教文 崔益鉉、許蔿、金鶴鎭等の排日的運動をなし既に罷免金一濟なるものも未排日的運動を四方に發したるが其通文中には左の如き條件ありしと

（一）日本の○○○○○○○する事

（二）借款を廢止する事

（三）財政整理に關し第一銀行とのに訂結したる條約を廢能する事

（四）人民の政界に干渉するを禁ずる事

（五）一進會を撲滅する事

●慶尙道移住民奉傳

全道移住者に就て親しく聞くを得たるを以て報ぜんに同移住者は熊本縣玉名郡腹寺村前代議士松村時次氏の經營にかゝるものにて同氏の代理者馬場仲藏氏は一昨廿移住者三十余名を同行にて來韓されたるが同氏は日露開戰前より韓國にて事業を起さんとて苦心經營しつゝありたるが馬場氏は慶尙道を調査せし事前後七回にて愈同郡の有望な

大商店訪問記（十六）

▲内山商店（幸町）

煙草等を專賣する内山商店を訪ふ店主出でられ相語る近頃は一般商況不振の方でしてて殊に當店は餘り韓人との取引を致しませんから一向面白い事もありません煙草の製造も追々盛大になさいませう一体に韓人には野蠻な族が多い樣ですからね云々と店主は其の舉動といへ動作といへ長く賣業界の人と思はれたり

▲關谷活版所（辨天町）

關谷氏は元陸軍御用商人として内方ゟ敏腕を揮ひし人にて全社は氏の一子が起したるものなるが昨年不歸の客となりしを以て氏自ら該業に當り居れり何分私も年を老つたので面倒な事は嫌なので隱居ふ氣つて居ればよいといふ主義にやつて居るのです子息の存立頃から皆様のお蔭で何時も機械が動かないといふ事がない丈安心でございます云々

●東京だより

◎市況 奉天占領の大戰の捷報續々頻々とし

◎武官長の歸京 大命を奉じて戰地を慰問したる勅使岡澤侍從武官長は去る十一日廣嶋を出發し十二日午前九時歸京せられたり

◎國民後援遊説 國民後援會は七日夜瀧澤、益田、朝吹、加藤正義、園田、大岡、黑岩、竹村、圓城寺、上島、大谷、原田、村松、高橋諸氏等會合の結果去る拾五日歌舞伎座に於て大演説會を開き終つて東西二派に分れて遊説する事と決定したり

◎復讎請願者の直願 復讎請願の許可せらるべきものは僅々二三箱に過ぎず該處分は本月中に圍金を下へ四月中に手續を濟し五月を以て發表すべしとの事に確拾二番の總代は右處分發表前に畏き邊へ直願書を提出する事に決したり

◎司法官會議 司法省にては去る拾五日各控訴院長及び檢事長を召集し其會議の主題たる區裁判所權限擴張の結果に伴ふ判檢事の轉補と地方裁判所支部存廢問題並に區裁判所中其權限に屬する民事件の全部を取扱はしむる所と否らざる所とを定むるに

◎東本願寺の公賣 東本願寺の財產公賣は去る七日拾五圓の內金を入れ六月一日迄延期せり本山は其れ迄自ら總財產を處分すべしといひ居れる由

◎西萬圓美人來る 西萬圓美人モルガン夫人のお雪は良人とともに去る八日長崎に來着九日神戸に着したりお雪は錆茶色の吾妻コートに下に三枚重ねの日本服を着流し日本下駄を穿き万事日本風にて夫婦相携へて上陸せりといふ

朝鮮日報

小說　勇ちゃん　蛙蛾

敵は縦横ありとても……ご今迄敵ひつゝ敵隊の少年が東西に分れ手ん手に捧されを持ちつゝ、戰の模擬して遊びたる野邊も今や早や蒼茫たる暮色に裹まれて、名殘は單に蹂躙したかれたる枯草とうちあらちうち散れる紳の折や旗の破れのみ、枯草を染めなす血も見えず……

今頃は定めて宅に皈つて今日の戰に捕虜となりて泣きたる友達が面白かりし事や、己のが敵の武器を奪つて降虜となせし愉快の話しを、そが無邪氣なる胸中を衝いて出る儘に父母や姉妹にも最ー樂しく語りつゝある時であらう……

だが原の彼方に一叢の木立ちある其蔭の朽ちたる松が根に腰打ち掛けて何にやら思案に暮れてる十二三の少年がある、其の側には二つ位い年下でもあらうかと思はれる小女が心配そうに少年の顔をのぞき込みつゝ

「ネー勇ちゃん、モウおんなに遲くなつたんぢやありませんか、早く歸りませう、ヨー、ヨーヲばネ勇ちゃん……」

少年は何の答へもなく、たゞ俛垂れてる許りである



「勇ちゃんてば、ーナゼ默つてるの、おんなに遲くなつちまつて、妾叱られないワ、其處迄送つて頂戴な、チー勇ちゃん」

小女はもどかしげに少年の肩を搖ぶるのである、少年は漸く口を開いで

「僕は厭だ、つやちやん勝手に歸れば可いじやないか」

「そん事いつたつてみんなに遲くなつて一人で歸れはしませんワ、そんな事云はないで、一伴に歸つて頂戴なネー」

「僕は厭だ〳〵、つやちゃんは自分で勝手に殘つたんだから僕が知るもんか、僕は知らないんだ」

「アラ、勇ちゃんは、隨分だネー」

少女は早や涙聲である、ソシテ又語をつゞけた

「勇ちゃんは何せ歸らないの」

「アノ僕はいやだ、今日僕があんなに擄たれたのも、みんなつやちゃんれ爲めだ　僕は實に殘念だッ」

拳を握はしてその小さき拳しを堅むるのである

「アヽマア、どうしたつて云ふの、妾のため勇ちやんが擄られたつて」

氣遣しげに少年を見上げるのである。少年は詰と小女を見返したが其緊れる口を開いて

「ちや言ふがネ、今日アノ虎雄子、車挽の子サ、あれが敵の大將で僕が日本の大將さそれで戰まゴッあをしたんだらう、僕は男の手計りでは面白くないから女の子も一所にしく女は赤十字社の看護婦さして遊んだら面白かろうと云つたら、みんなソウだ〳〵と贊成したが、ネ虎の野郎がアレあんな事いつてらア自分が負傷してつやちやんに看護して貰らわうと思つてとあんな事云ふで僕をヒヤカシたもんだから僕の贊成して居たもの迄がサン〳〵笑つて虎の方にクッ付いて了つた、それから僕が捕虜になつたらモウ降參してるのにてんな棒で僕の背撲つたんだ、僕の方は皆割つた竹で、撲つても左程痛くないので遊つてあるのにあんなので……、チーつやちゃん貴方が歸る事の出來なきや僕が其處迄送つて上げやうから」

「サアお歸り僕は如何あつても虎の野良に此の復讐をしなくちや腹が癒へないから」

「まア、こんなもので撲るなんてホントに虎と云ふ子は惡い奴ネー、先日も學校で勇ちやんと妾は憎郷たなんて云ふのよ」

少女は兼ねての虎に對する不平を洩した

「サア、つやちゃんれ歸り其處迄送つてよげるから」

「だや勇ちゃんは如何あつても、虎の敵を打つの」

「ア、僕は死んだつて虎の野良の復讐を打つのだ、虎に負けたなんか云はれたら第一死なれたお父さんに對して濟まないから」

「そんな事云はなくても、れ母さんが心配して待つていらつしやるわチー勇ちやん」

「ナニお母さんが心配するものか、僕のお母さんは軍人の妻だ、然も日露戰爭に討死をせられた旅團中佐の妻だッ」

此の時少年の眼には一種云はれぬ光が輝いた。少女は悲し氣に

「だやどうしても歸らないの」

「厭と云つたら厭だ」

「だや妾チーまたモウ妾は貴下に送つて頂かなくても、一人で歸るワ」

雄々しとも獨り歸らんとした勇兒は驚いて其幾つた少女の袂振に袖を捕え

「ナゼつやちやんはワ」

少女は靜かに顧みて

「妾そんなに喧嘩する人厭、今日も先生が忍耐は第一だと仰有つた、又喧嘩なんぞして身体を惡くするとお父さんや、れ母さんやには不幸となり、天子樣には不忠となるつて、だから妾勇ちゃんに送られるのは厭ヨ」

斯く言ふて少女は勇の顔を見つむのである

勇は其神々しき言葉に感じて暫時は㤀然としてありしが

「つやちゃん僕ア惡かつた、僕ア決して喧嘩などはしない、堪忍してオーつやちゃん」

少女は嬉しげに

「ほんとしないの」

「もう決してしはしない」

やがて二人は手と手を取て歩を出した折柄彼の彼方には今迄雲に閉された月は皎々として二人の清く麗しき姿を照したのである

（了）

●諸國の手土產　海山の景色も漸へ長閑なる花の三月も間近に迫り名所見物社寺參詣の遊者群を爲すの期節諸國の手土產物を擧ぐるも無用の業にあらざるべしと讀者に紹介するてと然り

▲東京土產　淺草海苔壹帖內外▲海表繪入壹個十錢以上▲東京麻壹本三錢▲目の符價未定▲今戶燒素器壹組拾五▲錦繪壹組五錢以上▲玉川鮎壹籠（拾尾入）壹圓位▲村田煙管總物壹本三拾錢位▲三河島菜壹把拾六錢▲練馬大根拾本二拾五錢位　（明日は京都土產を紹介す）

●激藥を飲んで死す　無分別な奴かな大分縣平民吉野文助（三十）は去る拾五日大邱北門外旅人宿東京館にれいて激藥を飲んで自殺を計り即死せりと何にか之には深い譯のあるものらんか兎に角安つぽい命です

●御用心　泥屋泥棒で壹時騷した福岡縣宗像郡岬村字地田中直平は（四十）隨分其筋に御厄介になつた出者だが昨日刑期も解け出獄したれば皆々樣方御用心遊ばせ

○左襟　兵庫生れ中辻あい（廿十）は中町釜山樓より春吉と下之關生れ阿賀すみ（三十）は薩良八と名乘り海獅樓より傳れ〻昨日二ヤンとも云はず左襟取つて現れたり

釜山商況

○正米　輸出皆無にて昨今の氣漸く地廻り錢商內あくのみなれは市場は至て沈靜にして更に活氣なく拉逃保合相場なり

○雜穀　出廻り荷うすにて相場は標準に過ざる獨り大豆は相變らず强氣配なるが是迚も荷薄にて取引は絶無し

○肥料　物凡て無配面白からず牛骨の如き行貿尤も不味なり

○石油　賣込分商競爭の結果價格は下落の一方に傾きつゝありて來た底止する處なし

▲明太　魚ぽつ〳〵發行あるも相場は矢張り不味よして直四も二十五圓內外なり

○食鹽　播州物三四貫目一俵貳拾七錢位にして韓人向は六貫元吞目一六拾九錢見當なり

日本郵船會社 仁川栄芝大浦牛浦行 瀛船釜山出帆廣告
日東丸 三月十八日
木浦川仁鎮南浦行 ヲハヨー號 三月十四日
荷客取扱所 大池回漕店
同

大阪商船會社 仁川鎮南浦行 汽船釜山出帆廣告
天照丸 三月十七日 二月十二日
義州丸 三月十九日 二月十四日
漢城丸 三月廿一日 二月十六日
群山丸 三月廿三日 二月十八日
馬山浦木浦群山行
多摩川丸 三月十八日 二月十三日
下関神戸大阪行
蒼龍丸 三月十七日 二月十二日
肱川丸 三月十七日 二月十二日
琴平丸 三月十九日 二月十四日
群山丸 三月廿二日 二月十七日
東丸 三月廿四日 二月十九日
多摩川丸 三月十五日 二月十日
ハイキング 三月十六日 二月十一日
蒼龍丸 三月廿六日 二月廿一日
天照丸 三月廿九日 二月廿四日
義州丸
嚴原長崎博多下関神戸大阪行
手取川丸 三月十七日 午後十時出帆
元山行
蒼龍號 三月廿二日 二月十七日
沿岸線
瑞鷹丸 仁川群山間毎週三回往復
大阪商船株式會社

大邱通藝株式會社 木浦郵船 汽船釜山出帆廣告
若津丸 三月十九日 午後六時 嚴原唐津行(九州鐵道ニ連絡ス)
中上西商店方
荷客取扱店 國中商店
八頭司汽船 釜山出帆廣告
萬歳丸 三月 木浦 川行
山陽丸 三月十七日 馬山浦行
馬山浦丸 二月 仁川行
但シ午后一時出帆 荷物ハ切午前十時
八頭司船舶部
湯浅商會 汽船釜山出帆廣告
京畿丸 門司大坂行 三月十八日 二月十三日
慶尚號 三月十八日 二月十三日

慶寶丸 元山行 仁川鎮南浦行 航海中
泰盛号 陽陰 三月十四日 二月九日
正成丸 仁川群山間航海中
本町海岸郵便局前 堀商會瀛船 釜山代理店
山川回漕店
池田汽船 松前丸 陽陰 三月 二月 仁川直行
幸光丸 全全 航海中
野村汽船群山仁川行 寧静丸 仁川芝罘 全全
貫効丸 陽陰 同
釜山港本町通海岸郵便局前 荷客元扱
山川回漕店 電話一七八番
大阪尼崎 瀛船釜山出帆廣告
仁川鎮南浦行 太湖丸 三月十五日
馬関大阪行 神代丸 陰陽 三月廿四日 二月十九日
仁川鎮南浦行 第二崇敬丸 全全 三月十九日 二月拾四日
大有丸 全全 三月二十日 二月十五日
大坂絹川丸 瀛船出帆廣告 大池回漕店
錦龍丸 三月 日 行
瀛船釜山出帆廣告
第八永田丸 陽陰 三月 二月 日 行
世昌洋行瀛船 津司神戸大阪行 ダグマル號 二月 日
仁川鎮南浦行 スルベルグ號
釜山運輸組瀛船 第四共同丸 三月二十日 馬関神戸行
第四共同丸 三月十七日 馬関神戸大阪行
沖永回漕店 (電話貳百貳拾七番)
第五永田丸 三月十五日 下関大阪行 月
釜山運輸組 (電話百二十七番)
世昌洋行汽船出帆廣告
門司神戸大坂行 ダクマル 三月 日 午後五時出帆
馬関神戸行 スルヘルク 三月二十日 午後五時出帆
世昌洋行汽船元扱店 齋藤回漕部
瀛船釜山川帆廣告

元山行 防長丸 三月十八日
元山行 浦門丸 三月十六日
荷客取扱店 三木回漕店 電話八二番
廣告
古着古道具刀劍古書畫並ニ金銀賣買ニ質屋 其外何品ニテモ高價ニ申受ベク候 西町三丁目石川醫院西隣 鈴木商店
各種時計保險附修繕並ニ附属品 迅速丁寧廉價ヲ主トス 釜山港西町三丁目一番地 嶋田旭賞堂
活版印刷 釜山南濱 日本堂
雜貨品御用達 防水布其雨具一式 洋服裁縫及販賣 空氣枕水枕製造 大日本小倉市京町三丁目 マルマ商會
陸軍御用達 釜山南濱通五十番戸 松尾儀平方 全商會出張所
附西洋御料理 天ぷら 安食堂 Restaurant, 釜山幸町一丁目 小倉庵 電話一五一
精白米廉價販賣 石炭米其他賣捌 南濱町海岸通四ッ角 西原商店
唐津石炭 辨天町一丁目 國安商店 電話一七一
丁寧親切 南濱地六番町 柳井旅館
株式會社第五十八銀行 釜山支店 (電話五一八番) 一般の銀行業務は精々御便利取扱可申候 (為替取組先) 東京 大阪 京都 横濱 名古屋 伏木 敦賀 富山 米子 尾ノ道 兵庫 神戸 姫路 網干 宇和島 柳井 岩國 廣島 倉敷 門司 長崎 博多 防府 仁川 小郡 唐津 京城 阿知須
速成寫眞 釜山南濱通 日朝寫眞館
材木建具廉價販賣 富平町精米所側 平松商店

株式會社第一銀行支店 (電話二番) 資本金壹千万圓 積立金百七十万圓 明治六年設立
本店 東京 頭取 澁澤榮一
支店出張所 京 横濱 大阪 神戸 名古屋 四日市 仁川 京城 兵庫 釜山 木浦 群山 鎮南浦 元山 馬山 …
為替取組先 長崎 門司 下関 大阪 博多 熊本 佐賀 …
諸預り金為替貸金其他銀行一般業務多少ニ不拘御便利御取扱可申候
磨擦米廉價販賣 富平町 岡本商店 (電話三拾二番)
寫眞撮影 釜山辨天町 平井寫眞館
板材木廉價販賣 其他石灰竹尾 南濱海岸 島末商店
青物乾物砂糖參粉 西町一丁目 遠藤商店
卷煙草刻煙草 宇田商店
銘茶各種 齒磨類 麻裏草履 石鹸 卸小賣共大勉強
諸新聞大賣捌 大坂毎日新聞 一ヶ月四十八錢 萬朝報 一ヶ月卅一錢 電報新聞 一ヶ月廿五錢 右迅速正確配達仕候 幸町一丁目二拾三番地 山口新聞舗
獸醫 富平町拾七番地 電話四拾四番 中尾祐作
おしろゐ化粧水 花札かるた才類 新形錢入莨入袋物 香水香油石鹸類 其他足袋麻裏雜貨小間物一切 釜山西町三丁目 諸品問屋 明治屋

純良牛乳 富平町二拾四番地 配達迅速便利 稲尾牛乳店
家屋は新築清潔ニ眺望は風光明媚ナリ 勉強旅館 取扱は親切丁寧に 京釜鐵道沿線 三浪津河岸 龜屋
東京御料理麥とろ 南濱海岸通り あぞひ (電話二四四)
活版印刷 朝鮮諺文活字あり 迅速 廉價 釜山西町一丁目 立志社
清酒櫻正宗 酒櫻魂 西町一丁目 上西酒店 (電話 番)
三印醤油 釜山北濱通 永野巖商店
血を増し肉を肥し胃を健にする強壯的飲料は本品に如くものなし 蜂印葡萄酒 韓國一手販賣元 釜山幸町二丁目 齊藤支店 (電話番號一四四)
萬小間物類 並ニ石鹸足袋 下駄糸化粧品類 右卸小賣共致候安價販賣 藤井商店
釜山米町 時計金時計販賣 電氣メツキ 金 銀 ニツケル 色々 附属品 修繕 年度保険付 幸町一丁目 園田時計店 (電話二一〇番)
東京そば 東庵
陸軍御用釜山罐詰所共製品 滋養牛肉ソツプ (一合代貳錢) 南濱二十八番 平田秀吉
勉強御下宿 南濱十八番地海岸通 伊豫屋
新古たゝみ製造賣買 並ニたゝみ表綠商 西町三丁目 丹原商店

商標 末廣 伊豫大洲 旅館 釜山港南濱町支店 小野茂
調劑所 處方調劑ノ依賴ニ應ス 釜山本町 弓削靈藥館
◎東京日々新聞◎大阪朝日新聞◎大阪毎日新聞◎大阪新報◎日韓新報◎日露戰記◎新聞雜誌◎日韓論評◎朝鮮時報◎
朝鮮唯一の大新聞 朝鮮日報 一ヶ月金一円廿錢 配達快速 廣告印刷大勉強取次 大邱方面一手特約販賣所 雜貨商 朝日商會


京城泥峴一號地ニ滯在シテ契約起案民刑訴訟等ノ法律事務ヲ取扱フ 東京辯護士會 辯護士 皆川廣濟
齒科專門 共生醫院假治療所 本町南濱通 十川商店前 和田野醫院ヨリ五軒目
煙草製造販賣廣告 大日本政府專賣局ノ特許ヲ受ケ最モ熟練ナル日本葉煙草ヲ輸入シ多年練磨ノ技術ヲ以テ高尚優美ナル刻煙草紙卷煙草ノ製造業相營ミ數切勉強ヲ旨トシ當分御購賣ノ程願上候
紙卷煙草ノ部 旭の煙 貳十本入 定價金六錢 文明 貳十本入 定價金五錢 鳳凰 貳十本入 定價金四錢
刻煙草ノ部 高尚優美特製旭の煙文明各種 旭の煙紙入包紙入各種
其他紙卷煙草各種玉造ハ御注文ニ應シ特製可申上候
韓國京城製造元 日韓煙草商會